特定非営利活動法人　とよたエコ人（びと）プロジェクト

2015 年度

第８回通常総会　議案書

日　時　　2016 年7月 23 日（土）　　15：00　～　16：30

場　所　　とよた市民活動センター　ホール
（豊田市若宮町１丁目５７番地１　A 館 T-FACE９階（松坂屋上階））

通常総会　次第

１．開会のあいさつ
２．議長の選出
３．議事録署名人の選出
４．定足数の確認
５．議案の審議

			ページ数
【審議事項】	第１号議案	2015 年度事業報告	1
	第２号議案	2015 年度収支決算	13
【報告事項】	１	2016 年度事業計画	18
	２	2016 年度収支予算	22

６．議長解任
７．閉会

期間
2015（H27）年度：2015 年６月～2016 年５月
2016（H28）年度：2016 年６月～2017 年５月
＊文中の「平成」表記の年度は４月～３月を示します

審議事項

第１号議案　　2015 年度事業報告　（期間　2015 年６月１日から 2016 年５月 31 日まで）

【概要】

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト（以下、当会）は、豊田市環境学習施設 eco-T（以下、eco-T）で活動する市民が中心となって設立した NPO 法人です。参加体験型の環境学習を通して、持続可能で豊かな地域社会（42 万人のエコライフとよた）の実現に寄与することを目的に、2009 年３月 19 日に設立（法人登記）されました。

若手スタッフの定着、職員不足が大きな問題でしたが、2016 年４月に２名の職員を雇用し、74 名（4/1 時点）のインタープリターとともに eco-T の来館者やイベントの来場者、出前講座の参加者などに、「環境問題と私たちのくらしのつながり」について伝えてきました。

昨年の総会で、eco-T の年間来館者数は過去最高と報告しましたが、平成 27 年度は 28,894 人（26 年度 24,907 人、25 年度 23,954 人）と、さらに記録を更新しました。

また、豊田市共働事業提案制度へ２件の提案、（一社）環境創造研究センターとのエコ交通アドバイス活動など、これまでの経験を生かした事業を行いました。

設立７年目に当たる 2015 年度の取り組みを、計画に沿って紹介します。

【事業活動】

１．環境学習事業

（１）eco-T での取り組み

eco-T の詳しい活動については、平成 27 年度活動報告をご覧ください。

なお、概要は eco-T ホームページ（http://www.eco-toyota.com/）にも掲載をします。

（現在７月中旬更新予定）

● eco-T の通常対応

来館者がいつ来ても楽しめる工夫をする計画でした。

木のおもちゃを中心にした常設コーナーに積み木等を追加購入、また寄付していただいたプラレールを活用した「レール広場」をクールシェア、ウォームシェアの期間中などに開催しました。

また期間展示などと合わせて簡単な工作や塗り絵を実施し、来場者に楽しんでもらえるような工夫をしました。

● 団体登録・施設利用の見直し

本来の目的である環境学習で利用したい団体が、予約が一杯で利用できないことや、商業の宣伝にあたるような利用があったことから、制度の改定と登録団体の更新を行いました。2015 年６月から新制度を施行しました。新制度の大きな特徴は下記のとおりです。

・環境学習を主な目的にした利用は６か月前から予約可能（学校が最優先）
・講演会などで大勢の人が集まる場合は多目的室を利用できる（駐車場には限りがある）
・商品の宣伝や商業目的の利用はできないことを明記

● くらしの環境学習推進校

学習コーディネーターや出前講座を担うインタープリターが不足しがちにもかかわらず、「とよたの環境学習お助け本（2015 年３月発行）」が発行され、ニーズが増える一方ではないかと考えています。コーディネーターとインタープリターの両方を増やす取り組みを考え、コーディネーターは事務局が対応できるスキルを高めること、出前を担うインタープリターは学習会や見学する機会を設けて、敷居を下げる取り組みを行いました。また、27 年度から 28 年度にかけて推進校の制度の見直しを行いました。結果、総合で環境学習に取り組む学校が見つかり、継続的にサポートを行っています。

	申込数	状況と対策
平成 27 年度	15 校	・見学後のふりかえりの授業は、ごみの授業で終わってしまい、温暖化や環境学習につながらない。
平成 28 年度	16 校	・社会科のごみの授業に特化した制度にする ・プランを２つ準備 プラン A：資源循環や3R を学び、ごみの学習を深化させる授業 プラン B：先生が見学のふりかえりを行い、その中で出た児童の興味に合わせた授業 ・結果、プラン A で１校、プラン B で５校、計６校が総合で環境を扱う学校として継続的にサポートしています。

● 低学年から高学年まで連続した環境学習への取り組み【充実】

4 年生以外の学年に環境学習に取り組む機会、モデル授業をつくる計画でした。

低学年向けには、機会やモデル授業を作ることができませんでした。

高学年向けには、単発の出前授業のほかに、新たに地球温暖化を学ぶ連続授業を開発することができ、その一部をエコ交通学習（交通政策課・都市交通研究所）と連携することができました。

● 木育の推進【新規事業】

2015 年 12 月にエコットフォーラムで東京おもちゃ美術館の多田館長をお招きした講演会を行いました。豊田市も森林資源が豊富で中堅製材所を誘致するなど、森林の活用に力を入れています。これまでのごみの減量や地球温暖化防止の啓発活動に加え、地域の森林資源を活用することで森林の大切さや CO2 吸収源としての森林の役割を伝えるために、平成 28 年度から新たに木育活動を推進することになりました。業務内容は下記のとおりです。

①積み木キャラバン隊ボランティア育成 2016 年４～５月に開催　10 人が登録

②積み木ワークショップ開催園募集　29 園で開催（予定数 10 回）

③積み木キャラバン隊マネジメント

④東京おもちゃ美術館アウトリーチ活動「木育キャラバン」の開催（7/2,3）

（２）eco-T 以外での取り組み

● 環境学習の機会提供

豊田市環境学習情報サイト「hibico（ひびこ）」の運営を豊田市から引き継ぎ、自主事業として 2015 年７月から毎月更新をしました。また、記者を増やそうと 2016 年１月から３回連続の「hibico 記者育成講座」を実施しました。

〔hibico 記者育成講座〕

日程	内容	講師
1/18（月）	第１回 hibico って何？	事務局（坂本）
2/8（月）	第２回インタビューの仕方・文章の書き方	杉江さおりさん（フリーライター）
2/22（月）	第３回プロに学ぶ写真の撮り方	久野ゆかさん（フリーカメラマン）

＊時間はいずれも 10：00～12：00

・参加費　3,000 円

・参加者　８人（新規５人）、８人記者として活動開始

● ESD に関する取り組み

様々な場面で ESD を意識した取り組みを行う計画でした。

①平成 27 年度豊田市共働提案制度市民提案型事業に「ESD コーディネーター研修事業」を豊田市地域支援課に提案しました。審査会を経て採択となり、平成 28 年度に、豊田市役所職員研修の一環として取り組んでいます。

②くらしの環境学習推進校などで打合せをする際に、ESD の視点などを意識した打合せを行っています。

● 環境基本計画に関する勉強会

環境基本計画勉強会（12/4）ならびに一般向け勉強会「京（みやこ）に学ぶエコライフ」（12/5）を開催しました。

２．環境学習等への支援、連携事業

● とよたの環境学習お助け本の活用

2015 年 4 月に市内小学校、交流館に各１冊、くらしの環境学習推進校の担任の先生に１冊、総合学習の自主研究会の参加者などに配布しました。

引き続き、小学校での打合せの際には、お助け本を学校に配布してることを紹介、出前講座のチラシには「豊田市教材データベース『POTETO（豊田市教職員限定のホームページ）』内でご覧いただけます」と告知を継続しています。また、2016 年４月には、当会 HP で公開し、誰でも内容が見られるようにしました。

環境学習プログラムを冊子にしたことで、打合せの際にイメージがしやすくなり、先生の希望も引き出しやすくなりました。

● 環境学習や環境まちづくりイベントへの支援・出展

要請に応じて、環境学習や環境まちづくりを目的としたイベントの支援を行いました。

①第２回とよた市民活動フェスタ（11/28）
とよた市民活動センターが実行委員会形式で開催するフェスタに、実行委員として参画しました。また、当日は当会会員を中心にかえっこバザールの運営を行いました。
②企業家族会のものづくりイベント（8/2 開催）
eco-T の全館を利用してものづくりと環境を体験するイベントの開催支援を行いました。約 100 人の実行委員が 10 ブース出展し、600 人を超える来場者がありました。
③第４回いなかとまちの文化祭（12/6）
豊田市中心市街地で豊田市の田舎の魅力を都市部で発信しようと毎年イベントを行っています。今年度は事務局機能を当会が担いました。
④イベントに限らず、豊田市自然観察の森、トヨタの森、とよたエコフルタウンなどの環境学習施設や矢作川研究所、豊田市役所関係各課（環境関係、地域づくり関係など）とは日常的に連絡を取り合い、必要に応じて連携を図っています。

● とよた環境学習・環境活動支援拠点（シェアオフィス）の運営
エコライフとよたを目的にする個人・団体に向けて事務所スペースの利用者を募集しています。
現在は下記の利用があります
〔オフィス機能〕
・NPO 法人ブルーバード（ワークライフバランスや起業支援）
・一般社団法人物々交換局（おむすび通貨発行団体）
〔会議利用〕
・豊田商工会議所青年部
・非営利組織 IPPO CLUB

● 平成 27 年度とよた再生可能エネルギー講座開催（豊田市環境モデル都市推進課より受託）
昨年に続き、再生可能エネルギーをテーマにした連続講座を開催しました。
今年度は、対象を事業者、テーマを小水力発電と絞り、講義とフィールドワークを組み合わせた講座を行いました。また、小水力発電を一般市民向けに啓発しようと、eco-T の講座でも中津川市の小水力発電所を見学するバスツアーを開催（4/28）しました。

回数	テーマ・日時	参加者数	内容
第１回	基礎講座 平成 28 年２月 25 日(木) 10：00～16：00	33 人	講師：石坂朋久氏（全国小水力利用推進協議会)、星野恵美子氏（水土里ネット那須野ヶ原参事）
第２回	先進地見学 平成 28 年３月 10 日(木) 9：00～17：00	20 人	①賀茂発電所（570kW） ②奥矢作第一発電所見学（323,000kW） ③富永地区手作り水車見学（500W） ④水車の里つくば（200W） ⑤太田町電柵用用水発電（8W）

● とよたエコ交通アドバイス活動の実施（(一社）環境創造研究センターとコンソーシアムを設置）
愛知県は東京や大阪に比べ自家用車利用が多い状況にあります。また、豊田市では低炭素社会に向けた交通関係の実証実験や公共交通に関するインフラの整備、専門の研究機関（豊田都市交通研究所）の運営、市民向け啓発など先進的な施策を進めています。低炭素交通関係者を横断的に連携させるコンソーシアムを組織し、低炭素交通行動（エコ交通）を促進するきっかけづくりを行うアドバイザー養成と市民向けアドバイス活動を実施しました。養成講座を場所と時間帯を変えて３回行い、29 人のアドバイザーを育成しました（27 人登録)。また 132 人にアドバイス活動を行い、114 人がモニターとして回答してくれました。モニターの半数が継続的にエコ交通に取り組んだとすると、１年間で 14.2 トンの CO_2 削減効果が見込めます。

３．環境配慮型商品等の普及促進事業

● 緑のカーテン普及事業
eco-T 入口の緑のトンネル（パッションフルーツ）ならびに３階調理室窓の緑のカーテン（宇宙いも）を設置し管理をします。また、有志により育成したゴーヤなどの苗をエコットフェスタで配布し、緑のカーテンを普及する計画でした。
①エコットフェスタ 2015（5/31)、2016（6/4,5）でゴーヤ等の苗と清掃施設課に協力をいただき、ECO グリーン小袋（2kg 入り）を無料配布しました。継続事業のため、苗をもらえることを期待して来場してくれる方も増えてきました。
②2011 年に最初のプランターを設置して５年を過ぎ傷んできました。エコットフェスタ 2015 の緑のカーテン用苗配布時にプランターを作り直すための寄付をお願いしたところ、8,628 円集まりました。公益財団法人あすてのボランティアグループ「森のプレゼント」に依頼をして、プランターを新しくしました。

リユースイベントの地域展開
使わなくなったおもちゃや絵本を交換する「かえっこバザール」の地域展開やエコットフェスタのリユース広場（子ども服、食器、本）など、リユースのしくみ化を検討し、資源が循環する社会づくりを試みる計画でした。また、大人向けのリユースも検討する予定でした。
①かえっこバザールは、とよた市民活動フェスタ、住宅展示場のイベントに加えて、交流館での開催が増えました。（平成 26 年度７回→27 年度 10 回）
②エコットフェスタのリユース広場を開催しました。
提供量　※5/1～5/31 で回収を実施、リユース量（持ち帰り量）は未集計

回収品目	フェスタ 2015	フェスタ 2016	前年比
本	738 冊	956 冊	130%
子ども服	3,044 枚	3,136 枚	103%
陶磁器・ガラス製食器	1,028kg	2000kg	195%
持参者（のべ人数）	227 人	288 人	127%

※2015 から点数制限と寄付を募集。
集まった募金：2015 年　32,472 円　「中部 NGO おうえん募金」を通してバヌアツの復興支援
2016 年　47,283 円　「中部 NGO おうえん募金」を通して熊本地震の復興支援

● 地産地消（食）の推進

地産地消の推進や障がい者の就労支援を目的に、エコットフェスタなどイベントを開催する際には、豊田市内や矢作川流域の産直品の販売や授産施設の商品を販売する機会を作る計画でした。

①エコットフェスタ 2015 では 19 店舗、2016 では 25 店舗（うち 11 店舗が初）の出店がありました。

②根羽村森林組合に依頼して根羽杉でお箸づくりの材料を製作してもらいました。またエコットフォーラムの関連イベント、木工ワークショップで曲げわっぱづくりを開催してもらい、流域の木材の活用や森林保全の啓発を行うことができました。

③エコットフォーラム 2015 の関連イベント、木工ワークショップで積み木づくりワークショップを行いました。材料は豊田森林組合から豊田市産材の木材を調達しました。

④積み木キャラバン隊で使う積み木は、稲武中学校の生徒が考案した幸せの「木」色い積み木、トコ積み木を採用し、豊田市民のアイデアと素材を採用し森林保全や地球温暖化防止を啓発しました。

4．調査研究、政策提言事業

● 新豊田市環境基本計画（平成 29 年度策定予定）に向けた取り組み

新環境基本計画の策定に向けて勉強会を行いました。豊田市役所では、第８次総合基本計画の策定を前倒しで取り組むことになり、環境基本計画も前倒しで計画することなりました。当会が環境基本計画の勉強会を重ねていることを受けて、当会推薦の環境審議員１名、豊田市環境基本計画等策定業務委託プロポーザルの選考委員１名を派遣することができました。

日時	参加者数	内容
12 月４日（金） 13：30～16：00	32 人 （市民 15 人、安城市民 12 人、豊田市役所２人、事務局３人）	（１）豊田市環境基本計画概要紹介 （２）講演「地域を元気にする！事例に学ぶ環境基本計画」（講師：下村委津子） （３）質疑 （４）ワークショップと発表 「私が市長なら！マイ環境政策」

● 豊田市民間提案型アウトソーシング制度「リサイクルステーション管理運営事業」

リサイクルステーションにリユースの拠点を併設し、リユースの取り組みを促進することを提案しましたが、採用に至りませんでした。

● 雑紙分別大作戦～雑紙は資源！共働で燃やすごみの減量を推進しよう！（共働事業提案制度）

平成 27 年度に事業の公募があり、①我が家のごみステーション調査、②ごみ減量シンポジウムの開催、③とよたオリジナルごみ減量リーフレットの事業を提案しましたが、採択されませんでした。

● 環境学習施設支援活動

清掃工場の建て替えに伴い、環境学習施設を設置する自治体から、eco-T に相談や視察が多くあります。eco-T の貴重な経験を各地で活かしてもらえるように随時対応しました。

・福岡県久留米市　マニュアル等の提供
・東京都武蔵野市　視察、情報収集
・静岡県富士市　　市民団体・市役所職員の視察、情報提供

● 各種委員会やネットワークへの参加

環境活動の促進や環境まちづくりの推進に向けて様々な活動に参加しました。
現状で参画している取り組みは以下の通りです。

・豊田市環境審議委員
・豊田市環境学習連携会議
・愛知県環境学習施設等連絡協議会
・とよた市民活動センター運営委員（平成 27 年度）
・とよた市民活動フェスタ実行委員（平成 27 年度）
・千年委員会（豊田市の持続可能な地域づくりに取り組む団体の情報交換）
・環境学習施設を考える会設立発起人会

5．情報受発信事業

● とよたのエコなくらし「hibico（ひびこ）」

豊田市環境学習 Web サイトの一環で始まった豊田市民の子育て中のエコライフを発信するホームページ「hibico」の運営を豊田市役所から譲り受けました。2015 年 7 月から毎月 1 回、15 日前後に更新しています。また、子育て世代の起業も多く参加した第 1 回とよた社会的起業フェスタに hibico を出展（5/14）。起業家の卵と交流するとともに、23 人の方に「わたしのエコライフ」をお聞きしました。

〔更新記事一覧〕

更新月	テーマ
2015 年 7 月	窓の断熱
8 月	健康づくり
9 月	キャンプの楽しみ
10 月	工作の楽しみ
11 月	交通安全学習センターに行ってきました
12 月	わたしの子育て論
2016 年 1 月	旬の食材を育てて食べよう
2 月	起業塾を受講して
3 月	国際交流
4 月	三州足助屋敷に行ってきました
5 月	こどもと一緒にごはんをつくろう

● エコポイントナビ製作業務

エコファミリー宣言をするサイトを発展させ、平成 26 年度にとよたエコポイントに関するポータルサイト「エコポイントナビ」を製作しました。継続してクールシェアキャンペーンなどの更新作業（一部）を行っています。

● 情報発信の充実

当会ホームページのリニューアルを行い情報発信の充実を図りました。合わせて当会のロゴを製作しました。今後名刺や団体パンフレット等に活用していきます。

● 季刊誌「えこびと」を発行しました。

2015 年 7 月発行 17 号	特集：大盛況！エコットフェスタ 2015 主な活動（2015 年4月～6月） エコメンみ～つけた（このいと屋　岩田 牧子さん） まちねた（STREET&PARK　MARKET、とよたまちさとミライ塾） 活動レポート 会員突撃インタビュー（本田 昭二さん）
10 月発行 18 号	特集：エコットーク「田舎暮らし」の舞台裏 主な活動（2015 年7月～9月） エコメンみ～つけた（森のようちえん森のたまご 代表 遊佐 美絵さん） とよたのマチねた（あそべるとよた／復活！西町はしご酒体験記） 活動レポート 会員突撃インタビュー（守随 純子さん） お知らせ
2016 年 1 月発行 19 号	特集：エコットフォーラム　市民による学びの場の創出 主な活動（2015 年 10 月～12 月） お知らせ ＊4P に縮小してお届けしました。
4 月発行 20 号	特集：eco-T　10 周年に向けて　／　キッズタウン始動！ エコなかま　エコット劇団めぐり座／エコットガーデニングクラブ 写真で見る活動トピックス（2016 年1月～3月） 活動レポート 読んで得するエコネタ エコびと紹介（河合 志郎さん） 事務局便り

● アクセス解析

〔自主運営〕

	エコ人 HP			hibico		
	2015 年度	2016 年度	比較（%）	2015 年度	2016 年度	比較（%）
セッション	4,628	5,133	10.9	116,492	103,625	-11.0
ユーザー	3,081	3,734	21.2	99,671	89,695	-10.0
ページビュー	9,358	6,840	-26.9	165,516	140,743	-15.0
平均セッション時間	0:01:38	0:00:52	-46.9	0:00:43	0:00:39	-9.3
豊田市アクセス	557	636	14.2	3,299	3,858	16.9

〔受託運営〕

	eco-T			とよたエコポイントナビ		
	2015 年度	2016 年度	比較（%）	2015 年度	2016 年度	比較（%）
セッション	27,170	34,573	27.2	13,273	41,665	213.9
ユーザー	17,361	23,410	34.8	8,724	24,261	178.1
ページビュー	77,455	86,719	12.0	47,148	154,839	228.4
平均セッション時間	0:02:09	0:01:49	-15.5	0:02:33	0:02:44	7.2
豊田市アクセス	6,281	7,160	14.0	3,629	12,201	236.2

＊エコポイントナビは平成 27 年度からスタート

6．環境学習施設等の管理運営事業

● eco-T での環境学習・運営業務

	平成 26 年度	平成 27 年度	単位	増減	比率（%）
eco-T 来館者数	24,907	28,894	人	3,987	16.0
見学団体	154	164	件	10	6.5
利用回数	673	647	回	-26	-3.9
登録団体数	191	117	件	-74	-38.7
エコライフ講座	60	61	回	1	1.7
	1,161	1,278	人	117	10.1
小中学校出前授業	32	34	校	2	6.3
	112	111	回	-1	-0.9
	3,293	3,407	人	114	3.5

● リユース工房受付業務

	平成 26 年度	平成 27 年度	単位	増減	比率（%）
展示実績	600	635	点	35	5.8
落札金額	1,971,800	2,091,800	円	120,000	6.1
来館者数	6,132	8,095	人	1,963	32.0
入札件数	3,062	3,916	件	854	27.9
落札重量	10,988	11,151	kg	163	1.5
新規入札者	619	496	人	-123	-19.9

● その他の eco-T の取り組み

豊田市と仕様書の再度見直しを行い、NPO らしいアイデアを生かせる仕様になりました。また、自主的に評価・改善を行ってきたことが業務になりました。

7．その他、法人の目的を達成するために必要な事業

● その他要請に応じて、環境啓発グッズの製作・販売を行いました。

①缶バッジの制作・販売

②マイ箸キットの活用

③積み木づくり治具の活用

● 稲武地区経済状況の調査分析

稲武商工会の依頼を受けて稲武地区の特徴として以下の点をレポートしました。

・1950 年（昭和 25 年）がピークで 6,084 人、現在は 2,545 人と大幅な人口減少が起きている。また生産人口年齢と被扶養人口（年少人口と老年人口を合わせたもの）が同じで、一人が一人を支えている構造となっている。

・I ターンする人、稲武の資源を生かして起業・業種転換する人が若干いる

・181 事業所、1,191 人の雇用、うち自動車関連の産業は２工場、従業員数 30 人と自動車産業の恩恵は少ない。

・道の駅どんぐりが重点道の駅として選定され、地域活性化の拠点として期待されている。またどんぐり横丁（産直）のレジ通過者数は 40～50 万人、売り上げは 4 億 5 千万円と地域経済への効果は大きい。

・今後は高齢者向けソーシャルビジネスの創出や観光資源の活用が期待できる

【法人運営】

1．会員

当会の活動に賛同し一緒に活動してくれる仲間を募りました。

種別	目標	2015 年度末
正会員	30 人	21 人
賛助・個人会員	70 人	47 人
賛助・団体会員	―	3 団体
合計	100	71

過去の変化

種別	10 年度	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度
正会員	24 人	22 人	25 人	26 人	23 人
賛助・個人会員	29 人	31 人	44 人	44 人	47 人
賛助・団体会員	1 団体	1 団体	2 団体	2 団体	3 団体
合計	54	53	71	72	73

2．寄付等

事務所カウンターに募金箱を設置しています。今年度の募金額は下記の通りでした。

・とよたエコ人プロジェクト事務所　8,222 円

3．会議の開催

（1）通常総会

第7回通常総会は、2015 年 7 月 20 日（月・祝）に、ホテル岡田屋において、総会、食事会、稲武散策を行い、懇親を図りました（参加者 15 人）。

（2）理事会

おおむね月に1回程度開催し、事業計画や進行管理、運営上の課題等について議論しました。

回	日程	主な内容
1	6月19日（金） 13:30～15:30	・スタッフの適切な人数 ・エコット、事務所のプリンター見直し ・事業の進捗
2	7月8日（水） 9：30～12：00	・第６回総会について ・事業の進捗 ・団体ＨＰの見直し
3	7月20日（月） 12:00～12:10	・代表理事の選任
4	8月21日（金） 13:30～16:00	・総会、理事会の報告 ・役員の着任について ・その他事業の進展

5	9月18日（金） 13:30～16:00	・採用の応募状況について ・事業の進捗
6	10月22日（木） 13:30～16:00	・求人の応募状況について ・エコ交通アドバイザー事業の進捗 ・その他事業の進捗
7	11月26日（木） 13:30～16:00	・スタッフ体制の見直し ・事業の進捗
8	12月16日（木） 13:30～16:00	・スタッフ体制の見直し（再） ・エコ交通アドバイス事業、環境基本計画勉強会実施報告 ・その他事業の進捗
9	1月20日（水） 9：30～12：00	・愛・地球博記念公園地球市民交流センターコンペの提案（不採択） ・エコ交通との連携 ・その他事業の進捗
10	2月19日（金） 13:30～13:45	・事業資金（つなぎ）融資の申し込みについて
11	2月19日（金） 13:45～16:00	・とよた小水力発電基礎講座の応募状況 ・その他事業の進捗
12	3月25日（金） 9：30～12：00	・事業年度の収支予測 ・事業の進捗
13	4月22日（金） 9：30～12：00	・スタッフの雇用、役割分担 ・事業の進捗
14	5月13日（金） 9：30～12：00	・慶弔金、手当等内規の作成について ・事業の進捗 ・総会の内容

以上

第 2 号議案　　2015 年度収支決算　（期間　2015 年６月１日から 2016 年５月 31 日まで）

１．活動計算書（二期比較）

「特定非営利活動に係る事業会計」活動計算書（二期比較）（案）

2015年6月1日から2016年5月31日まで

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト

（単位：円）

科目	2015年度		2014年度		備考(2015年度)
Ⅰ経常収益					
1　受取会費					
・正会員受取会費	170,000		210,000		正会員17名
・賛助会員受取会費	68,000	238,000	76,000	286,000	賛助会員　個人34名、2団体
2　事業収益					
・環境学習事業	0		9,000		
・環境学習等への支援・連携事業	790,080		971,000		環境イベント出展、シェアオフィス、再生可能エネルギー講座など
・環境配慮型商品等の普及促進事業	0		0		
・情報受発信事業	459,629		3,855,816		エコポイントナビ更新、環境学習Webサイト(hibico)更新
・環境学習施設等の管理運営事業	48,339,000		47,295,000		豊田市環境学習施設eco-T、リユース工房
・その他の事業	333,140	49,921,849	57,200	52,188,016	缶バッジ・はしづくり、稲武地区内経済状況調査分析
3　受取助成金	0	0	834,000	834,000	
4　受取寄付金	13,302	13,302	4,916	4,916	
5　その他収益					
・受取利息	1,722		2,082		
・雑収益	478	2,200	478	2,560	配当金など
経常収益合計		**50,175,351**		**53,315,492**	
Ⅱ経常費用					
1　事業費					事業運営に関する費用
1）人件費					eco-T:12名、エコポイントナビ・再生可能エネルギー講座:1名（兼務）、リユース工房:2名など
・給与手当	22,408,566		21,853,953		賞与含む
・法定福利費・通勤費	3,061,796		2,813,739		
・アルバイト給与	353,000	25,823,362	699,000	25,366,692	講座アルバイト費用、学習コーディネーター費用、環境学習Web取材など
2）その他経費					事業部門と管理部門に共通する経費は、部門の収益額によって按分して計上
・通信費	333,211		381,305		
・水道光熱費	192,033		156,271		
・旅費交通費	6,393,746		6,385,591		インタープリター交通費など
・取材費	2,976		0		
・広告宣伝費	1,863,219		1,314,625		イベントチラシ、eco-T通信など
・接待交際費	36,835		66,758		研修お礼など
・会議費	375,794		344,411		
・事務用品・消耗品費	2,517,139		1,351,960		事務用品、プリンター利用料、コピー用紙、消耗品など
・講座・イベント等材料費	499,630		450,829		
・新聞図書・展示用品費	667,318		655,221		新聞・雑誌購読料、参考図書、展示用品など
・印刷経費	0		255,960		
・リース料	1,278,668		1,781,012		業務車両リース、借上げバス、備品リースなど
・修繕費	267,106		259,892		備品修繕など
・地代家賃	1,918,728		1,887,638		
・保険料	392,903		125,537		ボランティア保険、行事保険
・租税公課	1,884,801		2,220,388		消費税など
・諸会費	41,454		65,142		
・福利厚生費	406,249		432,616		
・報酬	1,098,446		878,798		講師謝金、デザイン報酬など
・支払手数料	1,219,509		1,889,813		委託料・報酬、ごみ処理手数料、振込手数料など
・外注加工費	153,749		3,476,952		エコポイントナビ更新など
・雑費	3,400	21,546,914	3,000	24,383,719	
2　管理費					運営、広報、経理、労務等に関する費用
1）人件費					人件費分は従事割合により按分
・給与手当	1,861,110		2,269,020		賞与含む
・法定福利費・通勤費	659,089	2,520,199	838,258	3,107,278	
2）その他経費					事業部門と管理部門に共通する経費は、部門の収益額によって按分して計上
・通信費	2,303		3,301		
・水道光熱費	2,530		2,058		
・旅費交通費	1,889		2,616		
・広告宣伝費	625		421		環境カレンダーなど
・接待交際費	114,254		38,556		お祝いのお花など
・会議費	1,672		987		
・事務用品・消耗品費	5,510		5,022		事務用品、消耗品など
・新聞図書費	2,618		1,819		
・修繕費	860		390		
・地代家賃	25,272		24,862		事務所家賃
・保険料	217		303		
・租税公課	24,549		28,962		消費税など
・諸会費	546		858		中部リサイクル運動市民の会、自治会費
・福利厚生費	1,953		1,991		健康診断など
・報酬	1,194		4,002		
・支払手数料	7,574		7,015		振込手数料など
・支払利息	3,041		5,217		
・雑費	1,400		0		
・雑損失	0	198,007	133,000	261,380	
3　法人税、住民税および事業税	66,820	66,820	85,000	85,000	
経常費用合計		**50,155,302**		**53,204,069**	
Ⅲ正味財産増減の部					
当期正味財産増減額		**20,049**		**111,423**	
前期繰越正味財産額		9,290,244		9,178,821	
次期繰越正味財産額		**9,310,293**		**9,290,244**	

●経常費用の部門別内訳

（単位：円）

科目	環境学習事業	環境学習等への支援・連携事業	情報受発信事業	環境学習施設等の管理運営事業	その他の事業	管理部門	合計
1 事業費							
1）人件費							
・給与手当	0	350,000	100,000	21,758,566	200,000	0	22,408,566
・法定福利費・通勤費	0	23,197	23,197	3,015,402	0	0	3,061,796
・アルバイト給与	0	0	138,000	215,000	0	0	353,000
人件費計	**0**	**373,197**	**261,197**	**24,988,968**	**200,000**	**0**	**25,823,362**
2）その他経費							
・通信費	0	2,657	1,594	328,960	0	0	333,211
・水道光熱費	0	2,918	1,751	187,364	0	0	192,033
・旅費交通費	22,300	115,040	63,538	6,192,868	0	0	6,393,746
・取材費	0	0	2,976	0	0	0	2,976
・広告宣伝費	0	20,160	222,631	1,620,428	0	0	1,863,219
・接待交際費	0	0	0	36,835	0	0	36,835
・会議費	0	7,728	17,861	350,205	0	0	375,794
・事務用品・消耗品費	0	6,358	3,815	2,506,966	0	0	2,517,139
・講座・イベント等材料費	2,124	3,564	3,510	373,292	117,140	0	499,630
・新聞図書・展示用品費	0	3,021	1,812	662,485	0	0	667,318
・リース料	0	0	0	1,278,668	0	0	1,278,668
・修繕費	0	0	0	267,106	0	0	267,106
・地代家賃	0	29,160	17,496	1,872,072	0	0	1,918,728
・保険料	0	252	151	392,500	0	0	392,903
・租税公課	0	28,325	16,995	1,839,481	0	0	1,884,801
・諸会費	0	630	378	40,446	0	0	41,454
・福利厚生費	0	2,252	1,351	402,646	0	0	406,249
・報酬	45,000	117,577	30,826	905,043	0	0	1,098,446
・支払手数料	0	8,739	5,244	1,205,526	0	0	1,219,509
・外注加工費	0	0	153,749	0	0	0	153,749
・雑費	0	0	0	3,400	0	0	3,400
その他経費計	**69,424**	**348,381**	**545,678**	**20,466,291**	**117,140**	**0**	**21,546,914**
2 管理費							
1）人件費							
・給与手当	0	0	0	0	0	1,861,110	1,861,110
・法定福利費・通勤費	0	0	0	0	0	659,089	659,089
人件費計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**2,520,199**	**2,520,199**
2）その他経費							
・その他経費	0	0	0	0	0	198,007	198,007
その他経費計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**198,007**	**198,007**
3 法人税、住民税および事業税							
・法人税等	0	0	0	0	0	66,820	66,820
合計	**69,424**	**721,578**	**806,875**	**45,455,259**	**317,140**	**2,785,026**	**50,155,302**

２．貸借対照表（二期比較）

「特定非営利活動に係る事業会計」貸借対照表（二期比較）（案）

2016年5月31日現在

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト

（単位：円）

科目・摘要	2015年度		2014年度		備考(2015年度)
Ⅰ　資産の部					
１　流動資産					
現金	206,314		93,303		
普通預金	2,779,405		22,459,240		三菱東京UFJ銀行、豊田信用金庫、ゆうちょ銀行
売掛金	10,782,000		423,000		
前払費用	162,000		162,000		事務所家賃
流動資産合計		13,929,719		23,137,543	
２　固定資産	0		0		
固定資産合計		0		0	
３　投資等					
保証金	450,000		450,000		事務所保証金
出資金	10,000		10,000		豊田信用金庫
投資等合計		460,000		460,000	
資産合計		**14,389,719**		**23,597,543**	
Ⅱ　負債の部					
１　流動負債					
買掛金	645,152		1,225,412		HP更新費用、事務用品、eco-T通信など
未払金	2,902,024		2,701,944		5月分給与、社会保険、ボランティア交通費など
前受金	0		8,506,000		
預り金	556,750		638,363		社会保険、源泉所得税、住民税など
未払い法人税等	93,000		121,680		
未払い消費税	882,500		1,113,900		
流動負債合計		5,079,426		14,307,299	
２　固定負債	0		0		
固定負債合計		0		0	
負債合計		**5,079,426**		**14,307,299**	
Ⅲ　正味財産の部					
前期繰越正味財産		9,290,244		9,178,821	
当期正味財産増加額		20,049		111,423	
正味財産合計		**9,310,293**		**9,290,244**	
負債および正味財産合計		**14,389,719**		**23,597,543**	

３．財産目録（二期比較）

「特定非営利活動に係る事業会計」財産目録（二期比較）（案）

2016年5月31日現在

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト

（単位：円）

科目・摘要	2015年度		2014年度	
Ⅰ 資産の部				
１ 流動資産				
現金預金				
現金　　現金手許有高	206,314		93,303	
普通預金　三菱東京UFJ銀行　豊田南支店	337,103		820,794	
普通預金　豊田信用金庫　本店営業部	2,280,680		21,476,006	
普通預金　豊田信用金庫　トヨタ町支店	28,142		38,040	
普通預金　ゆうちょ銀行	133,480		124,400	
売掛金				
事業収益	10,782,000		423,000	
前払費用	162,000		162,000	
流動資産合計		13,929,719		23,137,543
２ 固定資産	0		0	
固定資産合計		0		0
３ 投資等				
保証金	450,000		450,000	
出資金	10,000		10,000	
投資等合計		460,000		460,000
資産合計		14,389,719		23,597,543
Ⅱ 負債の部				
１ 流動負債				
買掛金				
事業費（広告宣伝費・事務用品費・支払報酬など）	645,152		1,225,412	
未払金				
給与手当	1,829,205		1,575,732	
法定福利費・通勤費	476,391		540,342	
事業費（交通費など）	461,326		516,000	
管理費（支払手数料など）	135,102		69,870	
前受金				
事業収益	0		8,506,000	
預り金				
社会保険料	410,093		473,406	
源泉所得税	76,626		90,957	
住民税	58,700		32,900	
その他	11,331		41,100	
未払い法人税等	93,000		121,680	
未払い消費税	882,500		1,113,900	
流動負債合計		5,079,426		14,307,299
２ 固定負債	0		0	
固定負債合計		0		0
負債合計		5,079,426		14,307,299
正味財産		9,310,293		9,290,244

※計算書類の注記

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日発表、2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

- **消費税等の会計処理**

  消費税の会計処理は、税込方式によっています。

- **共通経費の按分方法**

  事業部門と管理部門に共通する経費は、部門の収入額によって按分し、事業費等の内訳に計上しています。

4．監査報告

2015 年 6 月 1 日から 2016 年 5 月 31 日までの特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクトの決算書類を監査した結果、処理が適正であることを認めます。

2016年 7月 17日

監事 石村正行 印

2016年 7月 18日

監事 谷口功 印

報告事項

1　2016 年度事業計画　（期間　2016 年６月１日から 2017 年５月 31 日まで）

（参考：事業マトリックス）

	自主事業	委託事業
１．環境学習	・講演会、環境基本計画勉強会	・eco-T での取り組み（環境政策課） ・地域づくりコーディネーター研修（地域支援課）
2．環境学習等への支援・連携	・イベント等への支援・出展（一部委託） ・シェアオフィスの運営	
3．環境配慮型商品当の普及促進	・緑のカーテン ・リユースのしくみづくり ・段ボールコンポストの普及 ・地産地消の推進	・かえっこバザール
４．調査研究、政策提言	・各種会議に人材の紹介・派遣	
５．情報発信	・hibico ・HP の運営、季刊誌発行	・eco-T の HP ・とよたエコポイントナビ
6．環境学習施設等の管理運営		・eco-T での取り組み ・リユース工房
７．その他	・缶バッチ、マイ箸、積み木づくりなど	

【事業活動】

１．環境学習事業

（１）eco-T での取り組み

重点事項を３つに絞り環境学習を推進します。

①くらしの環境学習推進校の見直し（小学校４年生向け）

推進校は、公共施設見学で渡刈クリーンセンターを見学する前後に出前授業を行い、見学の目当てとごみの分別や3R を深める授業を行っています。

元々ごみの授業から地球温暖化について発展することがほとんどなかったためごみの授業に絞り、プランＡ：ごみの分別や3R を深める授業（従来）とプランＢ：児童の興味に合わせて深める授業の２プランで行います。

②地球温暖化連続プログラムを推進（小学校高学年向け）

地球温暖化をテーマにした３回程度の連続授業を年度当初に募集して実施する。また、年度途中であっても推進校等に働きかけをします。

③木育に関する事業を開始

豊田市産材を活用して、森林保全の大切さや地球温暖化防止を啓発する木育事業を新たに開始します。

１）積み木キャラバン隊ボランティア育成（継続）

２）こども園向け積み木ワークショップの開催（目標：平成 28 年 10 園、29 年 50 園、30 年 50 園）

３）積み木キャラバン隊マネジメント

４）東京おもちゃ美術館アウトリーチ活動「木育キャラバン」の開催（7/2,3）と開催支援（10/8,9）
＊10 月 8、9 日は、豊田市役所産業部森林課主催行事

（２）eco-T 以外での取り組み

①環境学習の機会提供

１）総会に合わせた講演会

総会に合わせて環境問題を学ぶ講演会を開催します。

２）新豊田市環境基本計画勉強会

豊田市役所は平成 28 年度に環境基本計画の策定を行っています。パブリックコメント等に合わせて勉強会を開催し市民の関心を高めます。

３）その他

環境分野を楽しく学ぶ機会を提供します。

②地域づくりコーディネーター研修（ESD に関する取り組み）

平成 27 年度豊田市共働事業提案制度市民提案型事業で採択された事業を実施します。

第１回	6/21（火）	テーマ：地域づくりコーディネーターに期待される役割 講師：高田研氏 午前中は公開講座として講師が行ってきたコーディネート事例を紹介、午後は連続講座受講生に地域づくりのプロセスを講義
第２回	7/12（火）	テーマ：地域を歩いてマップをつくろう 稲武地区、下山地区（阿蔵、羽布、大沼）の４地区にわかれて地域資源マップを作る
第３回	8/23（火）	テーマ：発表と研修のふりかえり 講師：高田研氏 地域を歩いて作ったマップを発表し、コーディネーターの役割の必要性や自分の活動（仕事）に生かすための落とし込みを行う

２．環境学習等への支援、連携事業

①環境学習や環境まちづくりイベントへの支援・出展

交流館や企業、自治区、市民団体など各種団体からの要請に応じて、環境学習や環境まちづくりを目的としたイベントの支援を行います。要請に応じた実施ですので、目標値は定めませんが、本来業務に支障がない範囲で引き受けていきます。

②とよた環境学習・環境活動支援拠点（シェアオフィス）の運営

エコライフとよたを目的にする個人・団体に向けて事務所スペースの利用者を募集します。

３．環境配慮型商品等の普及促進事業

①緑のカーテン普及事業

eco-T 入口の緑のトンネルにパッションフルーツを、３階調理室窓に宇宙いもの緑のカーテンの設置、管理をします。今年はパッションフルーツの冬越しをやってみます。また、有志により育成したゴーヤなどの苗をエコットフェスタで配布し、緑のカーテンを普及します。

エコットフェスタ 2016（6/5）では、17 人から 956 本の苗の提供がありました。

②リユースのしくみづくり

・「かえっこバザール」の地域開催支援を行います。

・エコットフェスタで回収・提供した子ども服、陶磁器（食器）、本のリユースのしくみづくりを行い、資源が循環する社会づくりを試みます。

③段ボールコンポストの普及

燃やすごみの約半分が生ごみです。燃やすごみを減らすために、生ごみを減らす方法として、段ボールコンポストの普及を eco-T の講座の一環として行います。

④地産地消（食）の推進

地産地消（食）の推進や障がい者の就労支援を目的に、エコットフェスタや実行委員として参画するイベントなどで、豊田市内や矢作川流域の商品の販売や授産施設の商品を販売する機会を作ります。また、積み木キャラバンを通して、地域の木材利用を啓発します。

４．調査研究、政策提言事業

環境活動の促進や環境まちづくりの推進に向けて各種委員会への派遣やネットワークに参加します。

５．情報受発信事業

①とよたのエコなくらし「hibico」

継続的に月１～２回の更新を行いつつ、さらに豊田市民の親しんでもらえるような広報を行います。運営資金の調達方法が重要な課題です。

②とよたエコポイントナビ更新

豊田市から委託を受けて、エコポイント制度を運用している NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラムと共同して、エコポイントナビの更新を行います。今年度は、エコ行動チェックや電気、ガスの昨年との比較をする取り組みを復活します。

③当会の情報発信の充実

・更新したホームページに情報を追加します。

・当会リーフレットを新しく作成するとともに、定期的に季刊誌を発行します。

６．環境学習施設等の管理運営事業

①eco-T での環境学習・運営業務

平成 29 年度は eco-T の 10 周年です。節目の年として、さまざまなイベントを盛り上げるとともに、「市民力を発揮するための事業の選択と集中」を行います。

②リユース工房管理受付業務

来館者、落札者に満足してもらえるような案内をするとともに、出張リユース工房や eco-T のイベント出展などと連携して、リユース工房の認知度を高めます。

７．その他、法人の目的を達成するために必要な事業

その他要請に応じて、環境啓発グッズの製作・販売を行います。

例）缶バッジやマイ箸づくりなど

【法人運営】

1．会員

種別	2015 年度末	目標数	増減
正会員	21 人	30 人	＋9人
賛助・学生会員	47 人	70 人・団体	＋20 人
賛助・団体会員	3団体		
合計	71	100	＋29

2．寄付等

イベントなど、機会あるごとに当会の運営資金獲得や寄付文化の醸成のために、積極的に寄付を募ります。寄付先は、当会のみならず地球温暖化防止活動など、趣旨に合わせて寄付先を選定します。

3．会議の開催

（1）通常総会

第8回通常総会は、2016 年 7 月 23 日（土）に、とよた市民活動センター（若宮町１丁目５7−1 T-FACE A 館）で行います。元お天気キャスターの杉山範子先生（名古屋大学大学院環境学研究科特任准教授）に「気候変動に地域から挑戦する」というテーマで講演をいただきます。

第9回通常総会は、2017 年 7 月に開催する予定です。

（2）理事会

必要に応じて開催し事業の進捗や組織運営上の課題等について話し合います。

4．理事・職員研修、活動環境の整備等

事業や組織運営の充実を図るため、研修会等にスタッフや理事が積極的に参加します。また、スタッフやボランティアのやりがい・満足度を高めるための環境の整備を行います。

5．団体ビジョンの見直しや中期計画の策定

団体のビジョンや中期計画づくりを eco-T 開館 10 周年に合わせて行います。

２．2016 年度収支予算　　（期間　2016 年６月１日から 2017 年５月 31 日まで）

2016年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支予算書（案）

2016年6月1日から2017年5月31日まで

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト

（単位：円）

科　　目	金　額（円）			備考
Ⅰ　経常収益				
1　受取会費				
1）正会員受取会費	300,000			正会員30名
2）賛助会員受取会費	87,500	387,500		賛助会員：個人（一般・学生）67名、団体3
2　事業収益				
1）環境学習事業	486,000			地域づくりコーディネーター研修
2）環境学習等への支援、連携事業	168,480			環境学習・環境活動支援拠点
3）環境配慮型商品等の普及促進事業	0			
4）調査研究、政策提言事業	0			
5）情報受発信事業	0			
6）環境学習施設等の管理運営事業	48,438,000			豊田市環境学習施設eco-T・リユース工房（6～3，4～5月）
7）その他事業	0	49,092,480		
3　受取寄付金	5,000	5,000		
4　その他収益				
1）受取利息	1,500	1,500		
経常収益合計			49,486,480	
Ⅱ　経常費用				
1　事業費				
1）環境学習事業	437,400			地域づくりコーディネーター研修費用
2）環境学習等への支援、連携事業	151,632			環境学習・環境活動支援拠点費用
3）環境配慮型商品等の普及促進事業	0			
4）調査研究、政策提言事業	50,000			
5）情報受発信事業	500,000			環境学習Webサイト（hibico）費用
6）環境学習施設等の管理運営事業	42,629,800			豊田市環境学習施設eco-T・リユース工房費用
7）その他事業	0	43,768,832		
2　管理費				事業部門と管理部門に共通する経費の按分はせずに試算
1）役員報酬	0			
2）給料手当	1,350,000			法人運営
3）福利厚生費	150,000			健康診断　等
4）会議費	128,000			理事会12回、総会1回　等
5）旅費交通費	145,000			打合せ交通費、駐車料金　等
6）通信費	177,000			電話・FAX料、事務所インターネット、サーバードメイン、郵送料　等
7）事務用品・消耗品費	223,000			事務所消耗品費、プリンター利用料　等
8）新聞図書費	201,000			参考図書　等
9）水道光熱費	194,000			事務所水道光熱費
10）地代家賃	1,944,000			事務所費
11）保険料	16,000			役員傷害保険（代表理事）、火災保険
12）諸会費	42,000			自治区・商店街費、その他会費
13）支払い手数料	258,000			会計・給与ソフトサポート、振込手数料　等
14）租税公課	1,850,000			収入印紙、消費税(簡易課税)
15）雑費	0	6,678,000		
3　法人税、住民税および事業税	71,000	71,000		
4　予備費	0	0		
経常費用合計			50,517,832	
当期収支差額			(1,031,352)	
前期繰越収支差額			9,310,293	
次期繰越収支差額			8,278,941	

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト
（2016 年 7 月）

●事務所
〒471-0025　豊田市西町 1 丁目 88 番地
カニックビル 5 階
TEL　0565-50-5684　FAX　0565-50-5568
http://t-ecobito.jp/